

セルリアンタワー能楽堂
能に親しむ——観世流——

二〇二五年

五月十七日(土)

午後二時開演

(午後一時三十分開場)

能羽

衣

和合之舞

関根 祥丸

解説

山階彌右衛門

仕舞 杜

若

キリ

高梨 良一

仕舞 高

砂

浅見 重好

CERULEAN TOWER

能楽堂

NOH THEATRE

仕舞

高砂

浅見 重好

杜

若

高梨 良一

解説

山階彌右衛門

―休憩(十五分)―

能

天人 関根 祥丸

羽衣

和合之舞

漁夫白龍 館田 善博

後見 野村 昌司
山階彌右衛門

地謡

武田 崇史 角 幸二郎
井上裕之真 浅見 重好
木月 宣行 関根 知孝
清水 義也 高梨 良一

〔終演予定 午後三時五十分〕

地謡

渡邊 洋子
角 幸二郎
岡庭 祥大
清水 義也

「能に親しむ」公演は、様々な角度から能楽を観ていた
だき、親しんでいた公演です。能の約束事や用いる
道具・装束の説明、上演曲の解説、能のエッセンスを詰め
込んだ曲を上演いたし、初めて観る方も、能楽に慣れ
親しんでいる方も楽しめる内容です。

◎羽衣(はごろも)

駿河の国(静岡県)三保の松原に住む白龍という漁師が
釣りにやつてきて、のどかな浦の景色を眺めていると、一本の
松の木の枝に美しい衣がかかっています。家の宝にしようと
もつて帰ろうとすると、一人の女性が現れ、それは自分のも
のだから返して欲しいと頼みます。女性は天人であり、その

羽衣が無いと天に帰れないと嘆き悲しむと、その姿があま
りにも哀れなので、白龍は羽衣を返す代わりに天人の舞を
見せて欲しいと頼みます。天人は喜んで承知し、羽衣を
まとい、月世界における天人の生活の面白さや三保の松原
の春景色を讃え、舞を舞いながら天空へと上つて行きます。
原拠となった「羽衣伝説」は、日本の諸地方にも、また
「白鳥伝説」としてヨーロッパ各地にも広く伝えられていま
す。しかしそれらは皆、漁師が羽衣を返さないで天人は
やむを得ず男の妻となり、ある時羽衣を取り返し天に帰つ
て行くと言う話です。能楽では、漁師が天人を哀れんで自
ら羽衣を返し与えるように純化され、「羽衣」という能を
格調あるものになっています。

2025年

5月17日(土)

午後2時00分開演
(1時30分開場)

◎前売開始

MY Bunkamura 先行販売：2025年2月16日(日) 午前10時00分より
一般販売：2025年2月17日(月) 午前10時00分より

※Bunkamuraでの一般発売日(2/17(月))は、Bunkamuraチケットセンター電話およびオンラインチケット
MY Bunkamura(PC・スマートフォン)での受付となります。チケットカウンター(店頭)販売はございません。

◎料金：S席(正面) 7,500円/A席(脇正面) 6,500円

(税込) B席(中正面) 5,500円/学生席(座敷・自由) 3,500円

※学生席はセルリアンタワー能楽堂のみにて取り扱います。購入の際には学生証の提示をお願いいたします。
※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。

◎チケット申し込み：

- ▶Bunkamura チケットセンター
- ▶オンラインチケットMY Bunkamura
- ▶東急シアターオーブ/Bunkamuraチケットカウンター
- ▶セルリアンタワー能楽堂

03-3477-9999(10:00-17:00)
<https://my.bunkamura.co.jp/>
渋谷ヒカリエ2F(11:00-18:00)
03-3477-6412(平日10:00-18:00、土日祝14:30-17:30)
※営業時間は変更になる可能性があります。

※都合により公演の一部(出演者・曲目等)を変更する場合がございます。ご了承下さい。

「渋谷駅」国道246号線沿いにそびえる超高層ビル
「セルリアンタワー」の地下2階。

